

## 第41回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和2年10月20日（水） 10：00－11：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

（1）委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永田委員、永原委員、竝木委員

（2）事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

松尾局長、岡村審議官、川口参事官、吉田参事官

（3）関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

藤吉課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

國中理事

宇宙科学研究所

藤本副所長

4. 議事要旨

（1）宇宙科学・探査に係る令和3年度概算要求について

文部科学省から資料1を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等 ●：事務局・文部科学省・JAXAからの回答）

○概算要求について、優先順位はどうなっているのか。

●打上げ年度の近いものは優先順位が高い。また、JUICE や Hera といった戦略的海外共同計画は、少額でもしっかりと確保していきたい。技術のフロントローディングは、将来の芽出しとなる大事な予算と認識。財政当局の理解を得られるよう努めてまいりたい。

○これから、小型、中型をしっかりと行っていくという方針を踏まえた予算要求と理解。

（2）宇宙科学・探査プログラムの進め方及びプロジェクトの進捗状況について

JAXAから資料2を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等 ●：事務局・文部科学省・JAXAからの回答）

○予算規模等から、大型は国際協力でやらざるを得ない状況の中で、日本がどのように戦略的に進めていくかが非常に重要。

○技術が進歩が早いため、ミッション期間が長すぎると時期を逸してしまう。また、地上の天文学の大型計画と宇宙の大型計画のリンケージが昔より強くなっていることも考慮が必要。

○ISAS の組織マネジメントや科学コミュニティとの関わり方が課題。

以 上